

電話医療通訳の利用促進事業 説明会

東京2020大会に向けた

感染症対策

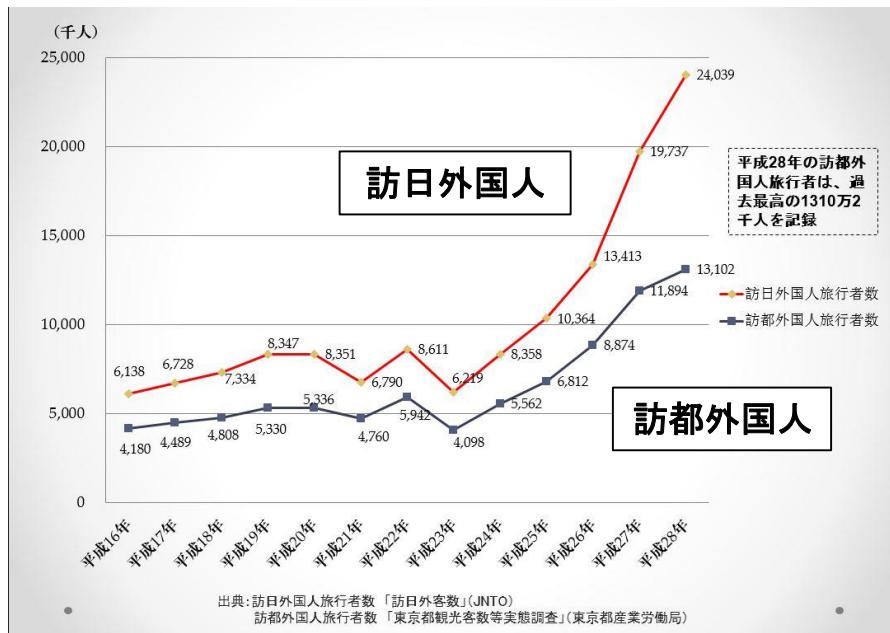
～麻しん、風しん、侵襲性髄膜炎菌感染症を中心に～

東京都医師会理事

鳥居 明

# 外国人医療の現状

## 訪日、訪都外国人の増加



## 外国人の増加→

### 外国人患者の増加

- 外国人旅行者や在留外国人の増加により、医療機関を受診する外国人患者が増えることが予想される。
- 外国人患者への医療、医療情報提供の充実は急務である。
- 医療機関への支援、医療情報の提供が必要。

# 外国人医療に対する東京都の取り組み

## ①医療機関への支援

- 外国人患者受け入れ体制の充実に係る第三者認証取得補助
- 外国人患者受け入れ体制整備補助
- 医療機関における外国人患者対応支援研修
- 医療機関向け救急通訳サービス

## ②医療情報の提供

- 外国語による医療情報サービスの提供
- 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」による医療機関検索

# 外国人医療と感染症対策

## 多国語感染症ガイドブック (東京都)



1. 日本語
2. 英語
3. 中国語(簡体字)
4. 中国語(繁体字)
5. 韓国語
6. タイ語
7. スペイン語

# 外国人医療の医療現場での対応

## Check Sheet for Symptoms and Conditions

Use this check sheet when you see a doctor.  
\*Some hospitals may have different communication tools.  
\*Some hospitals may not accept this check sheet.

**What are your symptoms?** (どんな症状がありますか?)

Where are your symptoms?  
(体のどこですか?)

What is the level of the symptoms?  
(その症状はどの程度ですか?)

**When did your symptoms start?**  
(いつからですか?)

- \_\_\_\_\_ day(s) ago (日前)
- \_\_\_\_\_ week(s) ago (週間前)
- \_\_\_\_\_ month(s) ago (か月前)

**Do you have any chronic diseases or other conditions?** (持病等がありますか?)

Hypertension (高血圧)	Diabetes (糖尿病)	Heart disease (心臓病)	Respiratory disease (呼吸器疾患)
Cranial nerve disease (脳神経疾患)	Cancer (がん)	Psychiatric disease (精神疾患)	Epilepsy (てんかん)
During menstruation (生理中)	Pregnant (妊娠中)	Other (その他)	

**Are you allergic to any medicine or food?**  
(薬や食べ物でアレルギーはありますか?)

Medicine (薬)	Food (食べ物)	Other (その他)
-----------------	---------------	----------------

**You may be asked to provide the information listed below to identify the source of infection in order to prevent its spread.**  
(感染源の特定や感染拡大防止のために、下記の情報提供を求められることがあります。)

● **History of Vaccinations** (予防接種歴)

Measles (麻疹)	Rubella (風しん)	Meningococcus (髄膜炎)	Japanese encephalitis (日本脳炎)	Yellow fever (黄熱)
Rabies (狂犬病)	Hepatitis A (A型肝炎)	Tetanus (破傷風)	Hepatitis B (B型肝炎)	Polio (ポリオ)
Chickenpox (水痘)	Influenza (インフルエンザ)	Mumps (流行性腮腺炎)	Malaria (Preventive Medicine) (マラリア (予防薬))	

● **Other** (その他)

Have travel companions. (同行者がいる)	Your travel companions have the same symptoms as you do. (同行者に同じ症状がある)
Had contact with animals within 2 weeks. (Birds/ Camels/ Other) (2週間以内に動物との接触があった (鳥/ラクダ/その他))	Bitten by a bug. (虫に刺された)

If you have restrictions in daily living or on treatments for religious reasons, please inform the hospital staff in advance.

## 医療現場での対応

- \* 各国言語による問診票
- \* 電話による救急通訳サービス
- \* Webサイトの多言語化
- \* 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」の拡充
- \* AIの技術の導入
- 自動翻訳機の普及  
(東京都医師会  
外国人医療対策委員会)

# オリンピック・パラリンピック 東京2020大会

正式名称	第32回オリンピック 競技大会 (2020/東京)	東京2020 パラリンピック 競技大会
競技数	33競技	22競技
選手数	204カ国 約10,500人	106カ国 約4,200人
チケット販売数	約1,130万人 (ロンドン2012大会ベース)	
ボランティア数	約11万人 (大会ボランティア8万人、都市ボランティア3万人)	
開催期間	2020.7.24(金)~8.9(日)	2020.8.25(火)~9.6(日)
競技会場	42会場 (都内25会場)	

# マスギャザリング

- 2020年に東京においてオリンピック・パラリンピック大会が開催される。
- 現在の時点で約4,000万人の訪日外国人旅行者数が予想されている。
- 1日当たりの予想来場者数は92万人と言われている。
- WHOは「一定期間、限定された地域において、同一目的で集合した多人数の集団」を「マスギャザリング」と定義している。
- 東京2020大会はまさに「マスギャザリング」ということができる。

# 感染症まん延の条件

- ① 過密：生活・衛生環境の悪化
- ② 移動：病原体の持ち込み

オリンピック・パラリンピック開催時期においては、この2つの条件が満たされ、感染症のまん延が予想される。



# 東京オリンピック・パラリンピックにおける感染症リスク

## 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けての 感染症リスク評価

		輸入例の増加	感染伝播の懸念	大規模事例の懸念	特記事項
ワクチン 予防可能 疾患 (VPD)	麻しん	○	○	○	接触者調査の負荷等
	風しん	○	○		
	侵襲性髄膜炎菌感染症		○	○	大会関係者における事例発生時の負荷等
	インフルエンザ	○	○		
	百日咳	○	○		
新興・再 興感染症	中東呼吸器症候群	○	○	○	接触者調査、リスクコミュニケーション等の負荷
	蚊媒介感染症（デング、チクングニア、ジカ）	○			蚊媒介対策の負荷等
食品媒介 感染症	腸管出血性大腸菌感染症		○	○	
	細菌性赤痢	○	○		
	A型肝炎	○	○		
	E型肝炎	○	○		
	感染性胃腸炎（ノロウイルス感染症を含む）	○	○		
その他	結核	○	○		
	梅毒	○	○		
	HIV/AIDS	○	○		

# 感染症に関する情報提供

## (1) 感染症週報（通常時）

都内の発生状況について情報提供  
定点把握疾患（インフルエンザ等）の  
報告数が基準を超えた場合に報道発表  
を実施

## (2) デイリーレポート（大会期間中）

# 感染症サーベイランス デイリーレポート

1. 感染症法における全数把握疾患報告  
一類感染症～五類感染症
2. 感染症法における定点把握疾患報告  
インフルエンザ、手足口病
3. 感染症包における疑似症報告  
(症候群サーベイランス)
4. 集団発生報告  
インフルエンザ、手足口病、麻疹

# 感染症サーベイランス デイリーレポート

## 1. 感染症法における全数把握疾患報告

- ① 一類感染症
- ② 二類感染症
- ③ 三類感染症：腸管出血性大腸菌感染症
- ④ 四類感染症：デング熱、チクングニア熱
- ⑤ 五類感染症：
  - 麻しん
  - 風しん
  - 侵襲性髄膜炎感染症

# マスクギャザリングの環境下で 注意が必要な疾患

## ① 麻しん：

空気感染をするため、きわめて感染力が強い。

## ② 風しん：

妊娠中に感染すると胎児に影響を及ぼす。

## ③ 侵襲性髄膜炎菌感染症：

病状の進行が早く、重症化する。

# 危機的事態

危機的事態：

感染症の発生、拡大により都民等の健康に影響を及ぼし、大会運営に支障が生じる可能性があり、以下の対応を検討する必要がある状況。

- ① 競技の中止、順延等
- ② 選手・関係者並びに観客、地域住民等の安全確保を図る対策
- ③ 被害拡大防止のため広域的・組織横断的な対応

# 感染症対策の基本

マスクやザリングにおいては感染症のまん延が予想されるが、ワクチンで防ぐことのできる疾患（VPD）はワクチンで防ぐのが原則である。

# VPD

VPD (Vaccine Preventable Disease)

ワクチンで防ぐことのできる疾患

麻疹

風疹

侵袭性髄膜炎菌感染症

ワクチンで防ぐことのできる疾患「VPD」は  
ワクチンで防ぐのが感染防御の原則



# 東京都医師会の活動

日本医師会代議員会代表質問

(平成31年3月)

麻しんの発生予防・蔓延防止には全国レベルでの対策が必要であり、とくに交通手段の発達した現代においては全国レベルでの麻しん対策は喫緊の課題と考え、日本医師会の今後の対策を質問する。

マスギャザリングの環境下で課題となる侵襲性髄膜炎菌感染症に関する対策についても質問する。

全国各地の自治体が選手団や関係者を受け入れるホストタウンとなっており、全国規模で感染症対策を講じる必要がある。

# 東京都医師会の活動

## 小池東京都知事へ要望書提出

「東京オリンピック・パラリンピック大会関係者における麻疹の予防・まん延防止に関する要望書」

(令和元年5月)

### < 対策 1 >

大会関係者、選手、都市ボランティア（約3万人）及び大会ボランティア（約8万人）に対して麻疹抗体価検査を行い、抗体陰性または抗体価低値の者にワクチン接種を行う。

### < 対策 2 >

都民全体に向けて、麻疹をはじめとする各種感染症に関する啓発活動をさらに強化する。

# 九都県市首脳会議

九都県市首脳会議が国に対して要望

(令和元年5月23日 根本厚生労働大臣あて)

「麻しん（はしか）対策の推進について」の要望

東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、  
川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市

1. 感染の中心になっている年代への定期接種化
2. 海外渡航予定者に対する予防接種
3. 国が財源を確保
4. 国の主導によるワクチンの安定供給

東京内科医会、東京小児科医会合同学術講演会

オリパラ東京大会に向けての  
ワクチン対策緊急会議

講師：川崎医科大学小児科学教授 中野貴司

演題：国際イベントが続く日本、今後懸念  
される海外からの様々の感染症について  
～髄膜炎菌感染症、麻しん、風しん等

日時：2019年9月20日（金）19：30～21：00

場所：東京都医師会館2階講堂

東京内科医会、東京小児科医会、サノフィ株式会社共催  
東京都医師会後援

# 最近の風しん感染事例

- 国際協力銀行総裁風しんと診断  
G20 関連会議にも出席
- 総裁：1957年（昭和32年）12月25日生まれ

## <風しん第5期定期接種>

- 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性
- 風しんの抗体検査施行  
陰性あるいは低値の場合はMRワクチン接種

# 最近の麻疹感染事例

- 品川区内における麻疹患者の発生  
東品川のビルにある三菱総研内で9/18～10/1の間に8例の麻疹確定例の報告があり  
患者さんは公共交通機関を広範囲に利用

症状：① 咳、鼻水、くしゃみ等の感冒症状  
② 38℃～39℃の発熱（二峰性）  
③ 発疹（解熱後再度高熱とともに出現）

潜伏期間：10～12日（最長21日間）

予防方法：MRワクチン（麻疹・風疹ワクチン）

# 最近の侵襲性髄膜炎菌感染事例

事例	内容
宮崎県の高等学校で発生したIMD集団感染（2011年） <sup>1)</sup>	高校の運動部寮内でIMDの集団感染が発生し、寮生と職員計5名がIMDと診断（疑い含む）され、そのうち寮生1名が死亡。
三重県的全寮制高等学校で発生した髄膜炎菌性髄膜炎（2013年） <sup>2)</sup>	全寮制高等学校に通う生徒が髄膜炎を発症。培養結果により髄膜炎菌と確定したが、セフトリアキソン投与により、髄膜炎は治癒し、後遺症なく治癒した。
日本で開催された国際的イベントに関連し発生したIMD症例（2015年） <sup>3)</sup>	山口県で開催された世界スカウトジャンボリー参加者のスコットランド隊のスカウト3名とその親類1名、スウェーデン隊のスカウト1名が髄膜炎菌感染症を発症。
神奈川県的全寮制学校で発生したIMD感染（2017年） <sup>4)</sup>	横須賀市内の全寮制学校において10代男子学生がIMDを発症し、死亡。学校関係者の濃厚接触者は42名で、そのうち保菌者は10名（学生9名、職員1名）いることが判明した。

1) 国立感染症研究所 病原微生物検出情報 (IASR) 32 (10) : 298-299, 2011

2) 国立感染症研究所 病原微生物検出情報 (IASR) 36 (9) : 178-179, 2015

3) 国立感染症研究所 病原微生物検出情報 (IASR) 36 (9) : 178-179, 2015

4) 横須賀市 侵襲性髄膜炎菌感染症の発生について

(<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3130/nagekomi/20180801.html>)

# 最近の侵襲性髄膜炎菌感染事例

宮崎県において10代の男性が侵襲性髄膜炎菌に感染

2011年5月12日：高校運動部寮内、体調不良

2011年5月13日：早朝食堂でうずくまる

7：10 近医救急搬送

10：00 全身痛、嘔吐、下痢、上半身に出血斑

10：30 重症細菌感染症を疑い、抗生剤投与

12：30 全身に紫斑、腎機能障害、総合病院に転送

13：50 総合病院到着

14：50 気管内挿管、人工呼吸管理

16：05 心肺蘇生開始

17：56 死亡確認



# 事前に受けておきたいワクチン

## 国際的マスギャザリングに関連したワクチン

疾患名	一般市民	医療関係者	大会関係者	メディア関係者
麻しん	+++	+++	+++	+++
風しん	+++	+++	+++	+++
侵襲性髄膜炎菌	-	++	++	+

- +++ : 全員に強く推奨
  - ++ : 感染のリスクが高いと考えられる人に推奨
  - +
  -
- +: 接種が好ましい  
- : 平時と同様の対応

# マスクギャザリングにおける ワクチン対策

## <麻しん、風しん>

麻しんおよび風しんの抗体検査を受ける。

陰性あるいは低値の場合はMRワクチンの接種を受ける。

## <侵襲性髄膜炎菌感染症>

ハイリスクの人はワクチンの接種を受ける。

# 関係省庁等連絡会議の 風しん・麻しんに関する特別対策

- 内閣官房東京オリンピック・パラリンピック  
推進本部事務局
- 令和元年8月1日開催  
「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技  
大会に向けた感染症対策に関する関係省庁等  
連絡会議」
- 「2020年東京オリンピック・パラリンピック競  
技大会に向けた感染症対策に関する推進計画」

# 関係省庁等連絡会議の 風しん・麻しんに関する特別対策

- 東京大会の成功に向けて、感染症対策に万全を期すため、特に多くの訪日外国人と接する機会のある者や感染した場合に大会運営等に悪影響を及ぼす可能性のある者に対し、風しん・麻しんへの感染リスクを一層低下させることを目的として、風しん・麻しんに関する特別な対策（特別対策）を講じる
- 対象
  - ①大会運営者等であって、感染することで大会運営に著しい悪影響を及ぼす可能性のある者
  - ②訪日外国人と接する機会の多い業務に従事する者

# 東京2020 ボランティアスケジュール

2019

2020

Jun.

Jul.

Aug.

Sep.

Oct.

Nov.

Dec.

Jan.

Feb.

Mar.

Apr.

May

Jun.

Jul.

2019.02~

大会ボランティア  
80,000人  
都市ボランティア  
(東京)  
30,000人

面談・説明会  
オリエンテーション等

採用可  
否判明  
研修の  
通知

2019.10~2020.02

共通研修

役割/  
会場確  
定通知

役割  
別  
研修

制服  
受取

会場  
別  
研修

本番

2019.04~

都市ボランティ  
ア(埼玉)  
5,400人

採用者向け各種研修

制服  
受取

2019.01~

都市ボランティ  
ア(千葉)  
3,000人

書類選考、面接

共通研修

採用  
通知

その他  
研修

制服  
受取

2019.05~07

都市ボランティ  
ア(横浜市)  
3,000人

面談・説明会

共通  
研修  
受講者  
通知

共通研修

採用  
通知

役割  
別  
研修

会場別  
研修等